

100mm

C'

100mm

B'

97mm (内側に折り込む面)

A'

暮らしの知恵

梅雨だからこそ知ったら話したくなる 天気雑学!

降水確率の0%は全く雨が 降らないわけではない!?

天気予報を見て、傘がいるかどうか判断する方は多いと思います。いつも目にしている『降水確率』ですが、「降水確率がどのよう



な方法で出されているのか」、また「降水確率とは何なのか?」といったことを改めて考えようとまく説明できなかつたりしませんか?

そこで、改めて降水確率について調べてみました。

降水確率とは、【100回同じ予報が出されていた場合、一定時間内に1mm以上の雨が降る確率の平均値】を表した表現です。つまり、降水確率とは【同じ気象条件での過去の雨の実績】と言え、降水確率には雨が降る量は関係ありません。つまり降水確率 20%と聞くと、降っても小雨程度というイメージを持ってしまうがちですが、**降水確率20%でも大雨が降る可能性は多いにある**と言えます。

また「降水確率0%」は、『ゼロパーセント』ではなく『レイパーセント』と呼ばれていることにお気づきでしたか?

実は「ゼロ」と「レイ」には異なる意味があるようです。「ゼロ」と「レイ」はともに『皆無』を意味しますが「レイ」には、例えば「**零細企業**」のように『**きわめて小さい**』という意味もあります。降水確率は10%刻みで発表され、10%未満の値は四捨五入されているため、確率が4%の時であっても発表される値は「0%」となります。そのため、テレビやラジオの天気予報では『きわめて小さい』との意味もある『レイパーセント』が使われ、**また0%でも、四捨五入されているので雨が降る場合もあるようです。降水確率が低くても、油断してはいけませんね。**

カラダおっさり!
イキイキ!

健康サプリ

【梅編】

梅は日本人の食卓に欠かせない食物の1つといえるでしょう。梅干しや梅酒、カリカリ梅などさまざまな用途に加工でき、梅特有の酸味と香りで味覚を楽しませてくれます。

生梅が出回る時期は短いですが、シーズンになると店頭にはたくさんの梅とともに大きな瓶や氷砂糖なども並んで季節を感じさせてくれます。

梅の選び方 (見分け方)



- ① やわらかい梅干しやジャムには黄色い梅
- ② 冷たい梅干しにするなら青い梅
- ③ 梅酒や梅シロップ (梅ジュース) には黄緑色
- ④ ふっくらと丸味があつて傷がない

例年になく、ちびっこ
剣士が多いです。
無料体験・見学会、
気兼ねなくご連絡
ください。



副館長
浅川 正堂



館長 浅川 裕 茲



道場HPIは
コチラ➡



雙柳館 浅川道場
岐阜市野一色 4-8-1

お問い合わせは
058-247-3676

育児は育自と申しますが、子ども達が自分の心と戦う勇気を応援し、子どもが自分の心の戦いに戻込みした時に、「自信をもって叱れる」「指導者(親)」になりたいものです。
日々是精進

柳生新陰流には「一文は無文の師、他流に勝つべきに非ず。昨日の我に、今日は勝つべし」という教えがあります。また平常心や不動心、克己心など、心の持ち方を意味する熟語や言葉は多く、偉人が残した名言でもよく耳にします。戦うべきは相手ではなく、自分自身であり、退けるべきは驚きや恐れ、疑い、惑いという自分の弱い心ということ。何事においても勝てばうれしですし、負けてよい気持ちばかりではありません。ですから「勝てるように!」という親心は当然です。しかし我が子は相手と同時に自分とも戦っていること、その自分との戦いについても愛情をもって見てあげてほしいと思うのです。決して手放しで褒めよというわけではありません。入門当初に願った我が子の成長ポイント、心の戦いを見失わないで欲しいのです。すると我が子に対する愛が深くなると共に、自分自身の姿や人生の在り方にも「おい、私! それでよいのか!」と目が向いていくように思います。

柳生新陰流には「一文は無文の師、他流に勝つべきに非ず。昨日の我に、今日は勝つべし」という教えがあります。また平常心や不動心、克己心など、心の持ち方を意味する熟語や言葉は多く、偉人が残した名言でもよく耳にします。戦うべきは相手ではなく、自分自身であり、退けるべきは驚きや恐れ、疑い、惑いという自分の弱い心ということ。何事においても勝てばうれしですし、負けてよい気持ちばかりではありません。ですから「勝てるように!」という親心は当然です。しかし我が子は相手と同時に自分とも戦っていること、その自分との戦いについても愛情をもって見てあげてほしいと思うのです。決して手放しで褒めよというわけではありません。入門当初に願った我が子の成長ポイント、心の戦いを見失わないで欲しいのです。すると我が子に対する愛が深くなると共に、自分自身の姿や人生の在り方にも「おい、私! それでよいのか!」と目が向いていくように思います。



子どもの汗と笑顔は

日本の宝

道

私、登田が通う剣道の師匠に、日ごろ子供達へお話ししている徒然を書いて頂いています。

勇気の向き
早々の梅雨入りに、日照不足を心配する一方で、やけに晴れ間が多く雨が少なくなりに思い、水不足が心配になります。便利で快適になってゆく社会で「当たり前」のありがたさや「ちょっとしたいい」の貴重さを見失うことなく生きたいと思えます。
さて、お子さんが入門される際、ご両親の多くは、我が子に「精神的に強くなつて欲しい」や「自信をつけさせたい」と成長を願っておられ、入門当初は稽古